

今月の題字



熊野第三小学校 5年 平谷 結希 さん

二年 神鳥 花

熊野第三小学校 3年 神鳥 花 さん



熊野第三小学校 1年 森重 茜 さん

【評】 横画、縦画の長さや「おれ」に気を付けて書きました。力強くしっかりと書くことができている。

【評】 生活科でシャボン玉の授業をした後、「シャボン玉がこんな色だったらいいな」「こんなに大きかったらいいな」と自分なりに想像を膨らませ、クレヨンやクーピーを使い、丁寧に色を塗ることができました。

熊野の自然 (374)  
コハウチワカエデ (ムクロジ科)



カエデもモミジも、同じカエデ属です。カエデは、葉の形がカエルの手に似る蛙手<sup>カエルテ</sup>に由来します。モミジは葉が紅葉すること、紅葉した葉などの意味です。カエデ属の葉が全て蛙手、掌状ではありません。全く裂けない葉もあれば、3出複葉や羽状複葉もあります。カエデ属の共通の特徴は、葉が対生すること、プロペラ状の翼を持つ翼果です。小羽<sup>コハ</sup>団扇<sup>ウチワ</sup>楓<sup>カエデ</sup>は、葉が天狗の羽団扇に似た羽団扇楓<sup>テングウチワカエデ</sup>より葉が小さいので名が付きました。別名、板屋<sup>イタヤ</sup>名月<sup>メイグツ</sup>、日本特産で、本州、四国、九州に分布する落葉高木で

す。県内で最も広く分布していて、特にブナ林に多く見られます。町内の山に自生する掌状のカエデは本種だけです。多くはありません。葉身は7裂か9裂が多く、縁は鋭い重鋸歯です。葉身の直径は5〜8cm。葉柄は長さ3〜8cm、葉身と同じか2/3以上の長さです。若葉の頃は、葉身も葉柄も多毛です。毛は後にだいたい落ちますが、裏面の脈上や葉柄に残りま

す。毛の有無は、種類を見分ける良いポイントです。花期は5〜6月。淡黄色の小さな花が、長い柄の先に集まって垂れ下がります。雄花と両性花が混じっています。翼果は水平に近い角度に開き、熟すと2つに分かれて風に運ばれます。分果は長さ1〜1.5cmほどです。

【写真・文】

緑花文化士 富沢由美子

筆の駅ミニギャラリー  
●ありがとう月間

筆の里ありがとうの  
絵がみ巡回展

時 11月1日(日)〜11月30日(月)  
筆の里工房で開催中の「第22回筆の里ありがとうのちよつと大きな絵がみ大賞優秀作品展【一般の部】」に伴い、過去の優秀作品を展示します。素晴らしい作品の数々をぜひご覧ください。



第21回 特別賞 熊野町教育委員会教育長賞 一般の部 吉中敬子 (広島県)

熊野町観光案内所「筆の駅」

熊野町出来庭 10・6・24

開 855・1123 (いいふみ)

開 10時〜16時

(各展示の最終日は15時閉場)

休 水曜日・第3日曜日

※無料

※ギャラリーのご利用については、お問い合わせください。

熊野町公式アカウント facebook

熊野町観光大使ふでりん 公式アカウント facebook

熊野町観光大使ふでりん LINE

防災無線放送再生ダイヤル 082-820-5640 (放送終了後24時間自動消法)

切り取って、電話機などに貼ってお使い下さい。